

2023年夏季 参加報告書

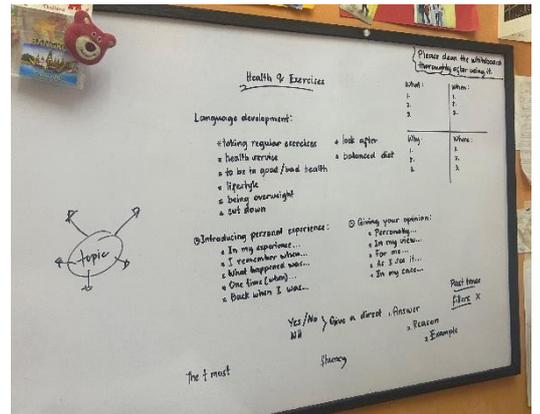
参加プログラム：SMEAG(IELTSコース)

参加時の学年：3年、学部：経済、学科：金融

私の留学の目的は、新しい体験を通して何かを得たいということでした。なぜなら、私自身には、発信力や働きかけ力など足りない力があると感じていたからで、留学をきっかけにそれらの力を得たいと考えていました。そのため、滞在中は、積極的に話しかけました。比率としては、日本人が多くなってしまったのが反省点ではありましたが、外国の方にも、話しかけるチャンスがあれば積極的に話かけていきました。直接的に、発信力や働きかけ力が向上したという実感はまだありませんが、留学以前よりも、ポジティブに物事を考えられることができ、明るくなったと感じています。それは、フィリピンの南国らしい陽気さと SMEAG の授業のおかげだと感じています。私はフィリピンで勉強できてよかったです。

具体的な留學生活の様子としては、平日はとても忙しかったです。具体的な1日のスケジュールは、朝6時ぐらいに起き、モーニングスパルタを受け、朝食を食べたあと、リスニングの授業とリーディングの授業を受け、昼食を済ませ、そのあと、スピーキングとライティングの授業を受けて夕食を食べて、イブニングスパルタを受けました。その後の自由時間では、友達と話したり、自習をして過ごしていました。土曜日はフィリピンを満喫したかったので、アクティビティに参加したりショッピングモールに行きました。反対に、日曜日は、たくさん寝て、自習したりのんびりして過ごしていました。

滞在中、最も印象に一番残っているのが、先生や友達と話したことです。フィ



リピン人はとても陽気で冗談を言ったり、鼻歌を歌う方が多かった印象を受けました。私は先生と話すことでエネルギーをもらったように感じています。中でも、スピーキングの先生が私の名前にメロディーをつけて歌ってくれたのが地味に嬉しかったです。またイブニングスパルタの先生にメイクをしてもらったのもいい思い出です。海外の友達と話することも楽しかったですが、それと同時に伝わらないもどかしさも感じていました。例えば、自分はどう言いたい、何と云えば伝わるか考えて話すのを躊躇してしまい、会話がそこで終わってしまうことです。しかしながら、それは英語学習の良い刺激になったと考えています。そのため、私は話しかけるのをあきらめずに積極的に話しかけていきました。幸い、SMEAG に来ている人はネイティブではないので、失敗したらどうしようと気負わずに話せたと感じています。その点は、SMEAG に通うことになって良かったと感じる理由の1つです。もちろん、勉強も頑張りました。毎週木曜日に模擬の IELTS のテストがあり、毎日そのテストに向けて勉強していました。なぜなら、成績が上がることに喜びを感じたのと、先生に良い成績を見せたかった

からです。勉強内容は、復習と単語の暗記を中心に勉強していました。私自身、留学前よりも英語力が伸びたと感じているのはもちろん、英語に対しての苦手意識がだいぶ薄くなったと感じています。

今後の目標としては、英語力を伸ばして TUJ との単位互換プログラムに参加したいです。英語力を上げたいという気持ちもありますが、私が興味のある経営についてテンプル大学では何を教えているのだろうかという興味があるからです。なので、引き続き英語学習は続けていこうと考えています。

